

「意外と熱海」ニュースレター2018年春号 (Vol.3) 熱海旅行初心者向け「王道スポット」をご紹介します!!

～真夏の混雑前、旅行がしやすい4月から6月に THE 熱海旅行のおススメ～

熱海市は、2019年4～6月、静岡県の大規模観光キャンペーン「静岡デスティネーションキャンペーン(DC)」及び、本年4～6月のプレDCを控えて、観光資源の発掘と磨き上げに取り組んでいます。

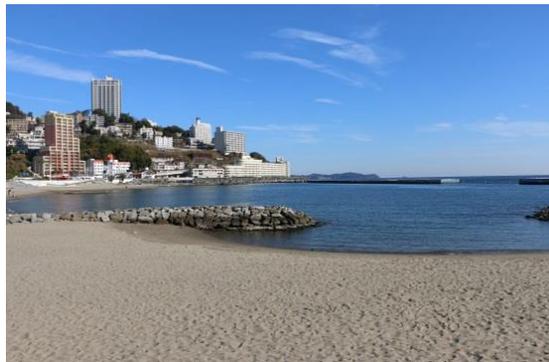
「意外と熱海」ニュースレター2018年春号 (Vol.3 最終号) では、熱海旅行の初心者にご提案する熱海観光の王道スポットをご紹介します (関連情報「あたまニュース」(<https://www.ataminews.gr.jp/>))。

熱海市は、東京から電車で1時間以内で行けるリゾートエリアです(東海道新幹線こだま号「東京駅」→「熱海駅」48分)。熱海市街地は、ビーチ、神社、レトロな街並み、庭園、美術館、景勝地がコンパクトに集積していて、短い滞在時間でも多くの観光スポットを巡れます。真夏の混雑前、旅行がしやすい4月から6月頃、熱海旅行に訪れてみては如何でしょうか？

■ 熱海旅行の王道スポット

1、「熱海サンビーチ」～季節ごとに表情を変える熱海の顔～

青い海と白い砂浜、立ち並ぶホテル群、ヤシの並木通りなど、南国気分を高めてくれるサンビーチ。早朝は水平線からのぼる朝日がビーチや街を染める光景が広がります。夜は、世界的な照明デザイナー「石井幹子氏」が手がけた日本初のビーチのライトアップが毎日行われ、幻想的な景色も楽しめます。



【所在地】静岡県熱海市東海岸町 【お問合せ先】熱海市公園緑地課 (TEL:0557-86-6218)

【参考 URL】<https://www.ataminews.gr.jp/spot/119/>

2、「貫一・お宮の像」・「お宮の松」～熱海を一躍有名にした文学作品に触れる～

熱海は明治時代から文豪たちが居を構え、名作が生まれました。特に有名なのが、尾崎紅葉の小説「金色夜叉」(こんじきやしゃ)です。主人公「貫一・お宮」はあたかも実在の人物のように国民の心をとらえて離さない存在となりました。「貫一・お宮の像」と「お宮の松」は、サンビーチの国道沿いにあり、写真撮影のスポットとして人気です。



【所在地】静岡県熱海市東海岸町 【お問合せ先】熱海市公園緑地課 (TEL:0557-86-6218)

【参考 URL】<https://www.ataminews.gr.jp/spot/113/>

3) 熱海七湯「大湯間歇泉（おおゆかんげつせん）」

熱海の街中では、温泉の源泉である「熱海七湯」巡りが楽しめます。その中でも世界の三大間歇泉の1つと言われた「大湯」は、湯と蒸気を交互に激しい勢いで噴出し、地面が揺れるようであったと伝えられます。大正時代初期まで、多量の熱湯を吹き上げる自噴泉でしたが、関東大震災(大正12年)後、噴出が衰え、昭和37年に人工的に噴出する間歇泉として再整備され、今は市の文化財として保存されています。



【所在地】熱海市上宿町3【お問合せ先】熱海市生涯学習課 (TEL:0557-86-6573)

【参考URL】<https://www.ataminews.gr.jp/spot/129/>

3) 世界3大花木「ジャカランダ」& SNS 映え抜群の「ブーケンベリア」～初夏を飾る熱海の花～

梅雨のシーズン(5月下旬～6月)は、世界3大花木の1つで薄紫色の“ジャカランダ”の花が海岸沿いお宮緑地(ジャカランダ遊歩道)に咲きます。6/9～24は、遊歩道が毎日ライトアップされる「ATAMI ジャカランダフェスティバル」が行われます。同時期、熱海中心街を流れる糸川沿いの遊歩道やちょっとした路地裏などで、SNS映えすると評判の真っ赤に咲き誇る“ブーケンベリア”が楽しめます。



【所在地】熱海市東海岸町～渚町【お問合せ先】熱海市公園緑地課 (TEL:0557-86-6218)

【参考URL】<https://www.ataminews.gr.jp/spot/335/>

4) 多くの方が訪れる、熱海のパワースポット「來宮神社」

来福・縁起の神として古くから信仰されている來宮神社。本殿横には国の天然記念物にも指定された樹齢約2,000年超、幹の太さ24mの大楠の御神木があります。“幹を1周すると寿命が1年延びる”“人に願い事を言わずに幹を回ると願い事が叶う”という言い伝えが人を魅了し、多くの参拝者が訪れています。夜は幻想的なライトアップも楽しめます。境内の茶寮「報鼓」(ほうこ)の来福スイーツや飲み物も人気があります。



【所在地】熱海市西山町43-1【お問合せ先】來宮神社 (TEL:0557-82-2241)

【参考URL】<http://www.kinomiya.or.jp>

5) 昭和初期、日本の文豪たちが愛した名邸「起雲閣」

1919年(大正8年)に築かれ、「熱海の三大別荘」と賞賛された名邸。1947年(昭和22年)に旅館になり、山本有三、志賀直哉、谷崎潤一郎、太宰治など文豪たちに愛されました。今は熱海市の文化財として一般公開されています。緑豊かな庭園、日本家屋の建築美を感じる本館(和館)と離れ、日中欧などの装飾や様式を融合した洋館が、優美な気品を醸し出しています。



【所在地】熱海市昭和町 4-2 【お問合せ先】起雲閣 (TEL : 0557-86-3101)

【参考 URL】<https://www.ataminews.gr.jp/spot/114/>

6) 花の楽園「アカオハーブ&ローズガーデン」+海と空を見晴らす絶景カフェ「COEDA HOUSE」

太平洋を望む高台に位置し、12のガーデンが点在する花の楽園です。4月には色鮮やかな10万球のチューリップ、5月から6月は約600種4,000株ものバラが咲き誇ります。昨年9月、園内で最も眺望の良い場所に日本を代表する建築家「隈研吾氏」が設計したカフェ「COEDA HOUSE」がオープン。木のぬくもりあふれる空間で、海と空を見晴らす絶景の中でお過ごしいただけます。



【所在地】熱海市上多賀 1027-8 【お問合せ先】アカオハーブ&ローズガーデン (TEL : 0557-82-1221)

【参考 URL】<http://www.garden-akao.com>

7) 日本一短い「アタミロープウェイ」&山頂エンタテイメント

日本一短い3分の空中散歩で、熱海随一の展望台「八幡山山頂」に到着します。山頂テラスからは熱海市街を眼下に、天気の良い日には房総半島や三浦三崎、遙か太平洋の彼方には伊豆大島、手前に初島を望みます。「熱海城」、「あいじょう岬」や大人のテーマパーク「熱海秘宝館」、「祈願堂」、アイスクリームで有名な「山頂売店」など山頂エンタテイメントが楽しめます。



【所在地】熱海市和田浜南町 8-15

【お問合せ先】アタミロープウェイ (TEL:0557-81-5800)、熱海城 (TEL:0557-81-6206)、熱海秘宝館 (TEL:0557-83-5572)

【参考 URL】<http://www.atami-ropeway> (アタミロープウェイ)、<http://www.atamijyo.com> (熱海城)、<http://www.atami-hihoukan.jp> (熱海秘宝館)

8) 多数の国宝や重要文化財を収蔵する「MOA 美術館」

東洋美術の絵画・書跡・工芸を中心に国宝3点、重要文化財66点を含む約3,500点を収蔵。7万坪の敷地の熱海の高台に建てられていて、館内からは伊豆大島や初島など、美しい絶景が望めます。春は桜やツツジ、初夏は新緑が楽しめる庭園も完備。一級品のアートと熱海の自然を味わいながらリゾート気分を満喫できる美術館です。



【所在地】 熱海市桃山町 26-2 【お問合せ先】 MOA 美術館 (TEL : 0557-84-2511)

【参考 URL】 <http://www.moaart.or.jp>

■ 熱海の王道スポットを巡るモデルコース

熱海市観光協会 公式観光サイト「あたまニュース(<https://www.ataminews.gr.jp>)」では、ニュースレターでご紹介した熱海の王道スポットを巡るモデルコースを多数ご紹介しています。

【熱海の王道スポットモデルコース (春・夏)】

- レトロ満喫！熱海まち巡り (<https://www.ataminews.gr.jp/model/451/>)
- 花と海の絶景／熱海城～アカオハーブ&ローズガーデン (<https://www.ataminews.gr.jp/model/452/>)
- アートとスイーツを楽しむ MOA 美術館へ (<https://www.ataminews.gr.jp/model/454/>)
- 観光ボランティアとまち歩き (<https://www.ataminews.gr.jp/model/463/>)
- 春から初夏の花満開！熱海花めぐり (<https://www.ataminews.gr.jp/model/325/>)
- しあわせのジャカランダと海岸さんぽで花めぐり (<https://www.ataminews.gr.jp/model/339/>)

※上記、一例です。

【本件に関するお問合せ先】

熱海市観光推進室 担当：小林

TEL : 0557-86-6370